



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 ソーダニッカ株式会社
 コード番号 8158 URL <http://www.sodanikka.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長洲 崇彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長 (氏名) 安江 正人

TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	73,124	4.8	914	14.0	1,128	15.5	738	10.9
29年3月期第3四半期	69,743	4.7	802	23.9	977	20.3	665	13.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,406百万円 (41.3%) 29年3月期第3四半期 1,703百万円 (72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	29.59	
29年3月期第3四半期	26.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	63,257	24,490	38.7
29年3月期	54,790	22,433	40.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 24,490百万円 29年3月期 22,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00		7.00	14.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,000	7.1	1,190	10.8	1,350	6.2	880	3.3	35.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	25,168,000 株	29年3月期	25,168,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	226,175 株	29年3月期	226,110 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	24,941,863 株	29年3月期3Q	24,942,019 株

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や底堅い個人消費等により総じて回復基調で推移しました。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましても、国内生産や企業収益は堅調に推移しておりますが、米国の金融引締めによる影響や緊迫化する北朝鮮情勢等、景気を下押しするリスク要因もあり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中期経営計画「Go forward STAGE 1」の2年目に当たる事業年度として、事業領域・業種ごとにニーズを汲んだ提案営業を加速させるとともに、これまでと同じく中国・ASEAN地域における海外取引の拡大、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高731億2千4百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益9億1千4百万円（同14.0%増）、経常利益11億2千8百万円（同15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億3千8百万円（同10.9%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダは市況の回復及び取扱数量の増加により増収となりました。その他の商品ではチタン化合物及び塩酸は増収となりましたが、活性炭及び炭酸ソーダは減収となりました。

有機薬品につきましては、石油化学製品、メタノール、製紙用ラテックス等が市況の回復により増収となりましたが、高分子凝集剤は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ5.1%増の527億8千1百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ5.3%増の16億7千9百万円となりました。

【機能材事業】

包装材料につきましては、複合フィルム、ナイロンフィルム、ポリプロピレンフィルム等が増収となりました。

合成樹脂につきましては、タンク類、ポリエチレン樹脂が増収となりましたが、高機能樹脂は減収となりました。

機器類につきましては、電気関連機器及びエレクトロニクス材料が増収となりましたが、機械器具設置工事は大型案件の減少により減収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ4.7%増の184億5千3百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ9.0%減の5億4百万円となりました。

【その他事業】

その他事業につきましては、曹達日化商貿(上海)有限公司が減収となったことにより、売上高は前年同期に比べ0.4%減の18億8千8百万円となりましたが、モリス株式会社が増益となったこと等により、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ37.8%増の6千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ84億6千6百万円増加いたしました。

増減の主なものは資産の部では、受取手形及び売掛金が60億6千2百万円、商品及び製品が10億1千1百万円、投資有価証券が24億6百万円それぞれ増加し、現金及び預金が9億2百万円減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が60億6千6百万円、繰延税金負債が7億1千2百万円それぞれ増加いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が16億6千5百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年5月10日付公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,757	6,854
受取手形及び売掛金	30,645	36,708
商品及び製品	2,423	3,434
繰延税金資産	116	62
その他	322	336
貸倒引当金	△29	△36
流動資産合計	41,235	47,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	506	475
車両運搬具（純額）	9	10
土地	1,087	1,087
その他（純額）	158	128
有形固定資産合計	1,762	1,701
無形固定資産	56	42
投資その他の資産		
投資有価証券	11,003	13,409
その他	772	778
貸倒引当金	△40	△34
投資その他の資産合計	11,735	14,153
固定資産合計	13,555	15,897
資産合計	54,790	63,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,838	28,904
短期借入金	5,073	5,040
未払法人税等	223	135
賞与引当金	247	125
役員賞与引当金	18	22
その他	747	606
流動負債合計	29,148	34,833
固定負債		
繰延税金負債	1,457	2,170
再評価に係る繰延税金負債	194	194
退職給付に係る負債	1,006	1,040
長期預り保証金	530	515
その他	20	12
固定負債合計	3,209	3,932
負債合計	32,357	38,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	11,211	11,600
自己株式	△63	△64
株主資本合計	18,040	18,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,249	5,914
繰延ヘッジ損益	△1	0
土地再評価差額金	148	148
為替換算調整勘定	68	63
退職給付に係る調整累計額	△71	△65
その他の包括利益累計額合計	4,392	6,060
純資産合計	22,433	24,490
負債純資産合計	54,790	63,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	69,743	73,124
売上原価	64,880	68,146
売上総利益	4,862	4,977
販売費及び一般管理費	4,060	4,063
営業利益	802	914
営業外収益		
受取利息及び配当金	185	215
その他	41	32
営業外収益合計	226	248
営業外費用		
支払利息	31	27
売上割引	3	3
為替差損	11	-
その他	4	3
営業外費用合計	51	34
経常利益	977	1,128
特別利益		
負ののれん発生益	72	-
特別利益合計	72	-
特別損失		
段階取得に係る差損	23	-
固定資産除却損	16	-
特別損失合計	40	-
税金等調整前四半期純利益	1,010	1,128
法人税、住民税及び事業税	306	354
法人税等調整額	38	35
法人税等合計	344	390
四半期純利益	665	738
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	665	738

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	665	738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,129	1,665
繰延ヘッジ損益	18	1
為替換算調整勘定	△116	△5
退職給付に係る調整額	5	6
その他の包括利益合計	1,037	1,668
四半期包括利益	1,703	2,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,703	2,406
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	50,215	17,632	1,895	69,743	—	69,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,535	1,535	△1,535	—
計	50,215	17,632	3,431	71,278	△1,535	69,743
セグメント利益	1,595	554	45	2,195	△1,393	802

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,393百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	化学品 事業	機能材 事業	その他 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	52,781	18,453	1,888	73,124	—	73,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,710	1,710	△1,710	—
計	52,781	18,453	3,599	74,835	△1,710	73,124
セグメント利益	1,679	504	62	2,247	△1,332	914

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,332百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。